

【国際交流 PR アソシエイトからの発信☆】はじめての着物体験

岩手大学では、留学生に年に2回、着物を体験してもらう機会を設けています。はじめての着物の着心地はどうだったのでしょうか？鄭婕さんが日本語と中国語で紹介します。

着物体験

「振袖」は私にとって深いイメージが二つ残っている。一つは美しい限りだということ。もう一つは値段が非常に高いということである。「浴衣」は着たことがあるけど、「振袖」を着ることは今まで夢の中でもない。今回、「着物体験」というイベントのおかげでようやく「振袖」を体験した。

私たち留学生のため着物の先生たちがわざわざ遠いところから岩手大学にいらっしやうた。きれいな着物をたくさん持ってきた。それぞれの柄が違い、帯を含めて百万円に近い！

着物の先生が未完成の着物を一つ持っていらっしやうた。私たちに着物の特徴を紹介した。そして、綺麗なカレンダーもプレゼントとして私たちにくれた。

みんなそれぞれ自分が好きな着物を選んで、先生たちが私たちに着物を着せてあげて、複雑な帯も作った。お腹がちょっと苦しいけど、鏡の中で立派な姿を見て、すべての苦しさか飛び去った。着物を着せてもらうのは短い時間だった。脱いだ瞬間は「解放した」と感じた。その後の気持ちは名残惜しいということ。これを買ってそのまま着て帰りたくなかった。

しかし、高すぎだから、いくら好きでも貧乏人の私は手が出ない...

和服体験

我对“振袖”有两个很深的印象，一个是此物只应天上有的华美，一个是高昂的价格。虽然有过穿浴衣的经历，但是连穿振袖的梦都不曾做过。这次借着“和服体验”的活动，总算体验了振袖。

和服老师们为了让我们这些即将回国的留学生们体验日本传统服饰远道而来，带着许多花色纹路各不相同的振袖和服。这些和服，加上与之相配的腰带，一套就要近一百万日元！

老师专门带了一套未完成的振袖和服，为我们讲解了振袖的特征。还带了十分有日本和纸特色的挂历。作为礼物送给我们。

每个人选好自己喜欢的和服，在老师们的帮助下层层穿好，腰带的打法甚是复杂。因为绑太紧，呼吸都变得困难。但当看到镜子里自己穿着振袖的样子时，所有的不舒适都瞬间消失不见。美好的时光总是短暂的，脱下和服的那个瞬间感觉身体得到了解放，但随之而来的是强烈的不舍，想要把它买下来然后穿着回去。

但是因为太贵了，不管有多喜欢作为一个穷人我是买不起的.....

